

「未来を語ろう！団体
ワールドカフェ in かまくら」
実施報告書



平成 25 年 3 月
鎌倉市

第1 「未来を語ろう！団体ワールドカフェ in かまくら」について

(1) 開催目的

次期基本計画の策定にあたり、鎌倉の魅力を再確認し、市民力・地域力が活きる将来のまちの姿について、市内で活動する公共的団体に所属する方々が考え、共有できる場を設定し、計画期間中に取り組む施策を導き出すために「未来を語ろう！団体ワールドカフェ in かまくら」を開催しました。

(2) 実施方法

「未来を語ろう！団体ワールドカフェ in かまくら」は、市民参画の手法である「ワールドカフェ」を参考として開催しました。

「ワールドカフェ」とは、話し合いの場において、カフェテーブルのような小グループに分け、度々メンバー交換をすることにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待される手法です。

この方法によると、さまざまな価値観をもつ人たちが集まるなかでも意見共有をしやすいこと、また、限られた財源のなかでまちづくりをどのように行っていくのかというアイデア創出を期待することができます。そのため、今回の基本計画を策定するうえで優れた手法であると考えられるため、この方法を採用することとしました。

～ワールドカフェの特徴～

1. 4～5 人1グループで決められたテーマについて話し合う。
2. 1ラウンド 20～25 分程度で数ラウンド行う。
3. ラウンドごとに1人を残してメンバーを交換する。
4. ラウンド中は、模造紙に思いついたことを自由に書く。
5. ラウンド後に話し合いの中で出たアイデアや気づき事項を参加者それぞれがふせん等に取り付け、その後全体で意見を集約する。

(3) 開催概要

ア ワールドカフェの開催概要

ワールドカフェは次のとおり開催しました。

開催日 平成 24 (2012) 年 11 月 28 日 (水)
開催時間 午後 6 時 30 分～午後 9 時 00 分
開催場所 鎌倉市役所本庁舎 2 階 議会全員協議会室
参加者 22 人
テーマ：「市民力・地域力について」

○ 議論のテーマはラウンドごとに設定

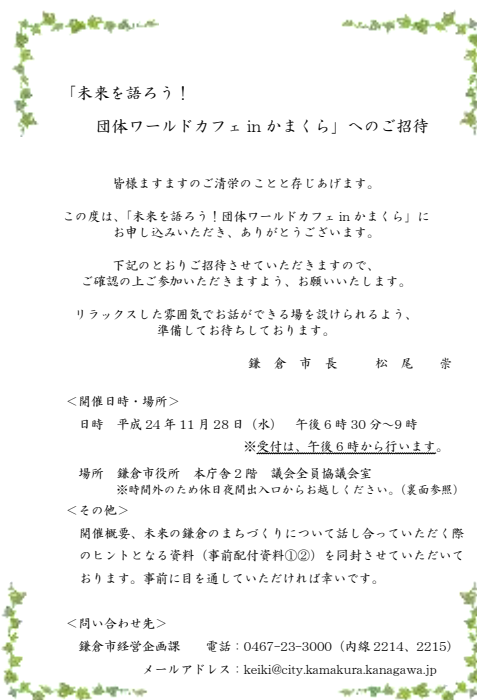
ラウンド1 あなたが普段「鎌倉っていいな」と感じるの
は、どんなところですか？

ラウンド2 20 年後の鎌倉はどんなまちになってほしい
と思いますか？

ラウンド3 ラウンド 2 で話し合ったようなまちになるために、
あなたができることとは、何でしょうか？

イ 参加者について

ワールドカフェの参加者は、日ごろから地域活動に取り組まれている鎌倉青少年会議所、三浦半島地域連合、鎌倉市市民活動センター運営会議、鎌倉市社会福祉協議会から推薦された方としました。



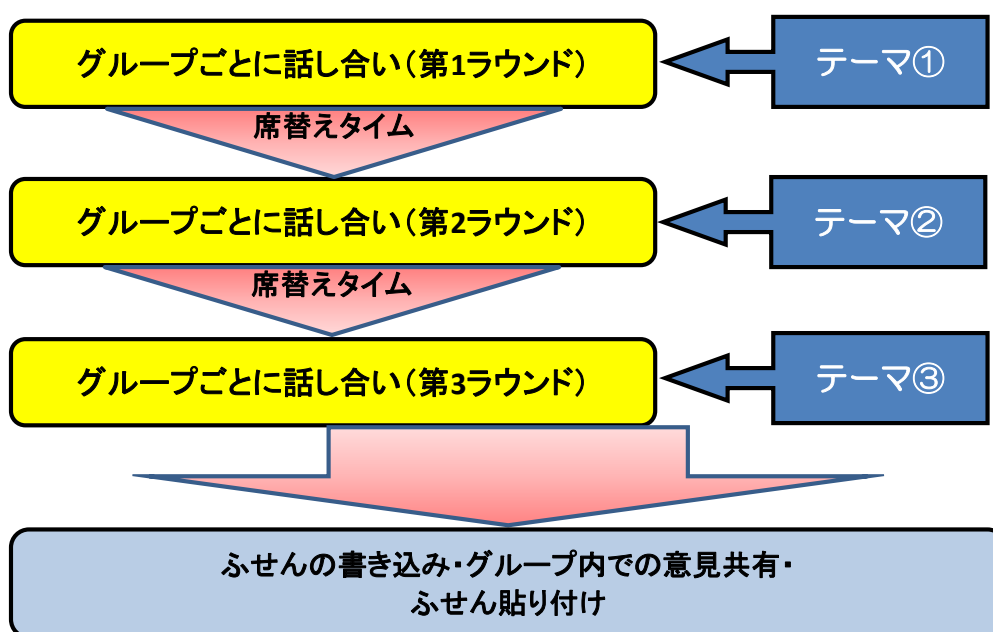
ウ ワールドカフェの進め方

今回のワールドカフェでは、参加者4～5人で1つのグループを形成し、ラウンドごとに異なるテーマを話し合っていました。1回のラウンドは約20分で行い、合計3ラウンドで1ラウンドごとに席を自由に移動いただきました。

ワールドカフェの開始に先立ち、参加者が鎌倉のまちづくりを考えるための情報提供として、市長による鎌倉の現状について説明を行いました。

全ラウンド終了後、第3ラウンドで出たアイデアや全体の感想などをふせんに書いていただき、グループ内で感想を共有した後に、ふせんを模造紙に貼り付け、それを貼り出したうえで全体で意見の共有を行いました。

図1 ワールドカフェの進め方



エ テーマ

今回のワールドカフェでは、以下のようにラウンドごとに異なるテーマを設けました。参加者の身近な経験から始まり、将来の理想やそれにあたって自分自身ができることを語っていただきました。

ラウンド1	あなたが普段「鎌倉っていいな」と感じるのはどんなところですか？
ラウンド2	20年後の鎌倉はどんなまちになってほしいと思いますか？
ラウンド3	ラウンド2で話し合ったようなまちになるために、あなたができることとは、何でしょうか？

オ スケジュール

今回のワールドカフェは、以下のスケジュールで行いました。

タイムスケジュール

時間	内容	時間	内容
18:30～	開会のあいさつ	19:50～	第3ラウンド
18:35～	鎌倉市の現状の説明	20:25～	グループでの振り返りタイム
18:45～	当日の進め方・ワールドカフェの説明について	20:35～	全体共有タイム
19:00～	第1ラウンド	20:55～	閉会のあいさつ
19:25～	第2ラウンド		

カ 全体での意見共有方法

ラウンド後にふせんを書いていただく際には、1人5枚までとし、グループ内で意見交換をした後は、それを皆で共有したうえで意見発表を行いました。

ふせんには、ラウンド3で出た市民力・地域力を発揮するためのアイデアやワールドカフェを通じて印象に残った内容を書いていただきました。

図2 意見のまとめプロセス



キ 意見の活用方法

今回のワールドカフェでいただいた意見、アイデア、考え方については、次期基本計画の策定にあたり、計画の推進に向けた考え方やまちづくりの展望などに反映させていきます。



第2 参加者意見のまとめ

(1) まとめの方

参加者に記載していただいたふせんを集計し、どのような内容の意見が多かったのかをまとめました。

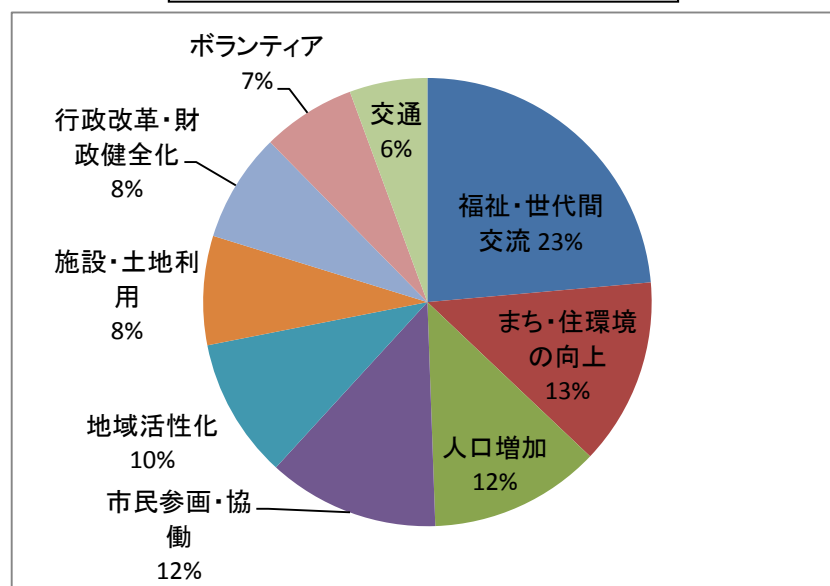
なお、記載については、原則として原文のままとしています。

(2) 意見のまとめ

ア 概要

全てのラウンドが終了した後、今までの話し合いのなかで印象に残ったこと、ラウンド3で出たアイデアをふせんに記入していただきました。ふせんに書かれた内容別に分類をしたところ、以下ようになりました。

図3 書き込み内容の割合



最も多く書き込まれた内容は、「福祉・世代間交流」で、このほかにも「市民参画・協働」「ボランティア」といったような他者と積極的に関わることで、よりよいまちづくりをめざそう、という書き込みが多くなりました。

また、「人口増加」「地域活性化」「施設・土地利用」「行政改革・財政健全化」「交通」といったまち全体の課題についての意見もありました。

イ 書き込みの状況

書き込みの内容は以下のとおりになりました（かっちは書き込み数）。

・ 福祉・世代間交流（21）

班	内容
A	高齢化をマイナスと考えるのではなく、プラスの方向へ
A	世代間の交流を進める！
A	子育て中の世代を応援する
A	元気な老人は若者の目標になりうる
A	高齢化をリスクとせずメリットに変えたい
A	世代間の交流を図り、地域の活性化につなげたい
A	老人パワー 元気なお年寄りの人的資源を活用する。期待される老人 モチベーションになる →世代間交流を進める（腰越中の例）
A	年寄りが誇れるまち 説明できるまち 老人はもっと活用
A	世代間交流 ・引きこもり ・とじこもり を防止するための若者との交流
A	震災時には、高齢者を若い人が助ける風土をつくる
A	老人は友好的人的資源 活用しよう！
A	若い人と老人の交流により老人にパワーを発揮させるよう努力する
B	高齢者が資源となるよう次世代につなぐ
B	若い人のIT 利用の実際を高齢者に教える。ボランティアセンターの授業、企業の社会貢献でも OK
C	日本一、世界一の介護リーダー都市となるように支援する
C	高齢者団体が若い人の団体と交流できるようにする
C	お年寄りとう若い人が共存できるまちづくりが大事。古い家を市が買いあげ若い人に安く賃貸してはどうか
D	かまくら内で世代間交流をもっと広げる
D	お年寄りを社会資源としよう！
D	高齢者福祉先進モデル都市になろう！
D	お年寄りは介護対象者ではなく社会資本である

・ まち・住環境の向上（12）

班	内容
A	素適な鎌倉を守りたい
A	知的土地の風土 歴史の価値を後世に伝える
A	温かい やさしい社会を創ろう！！
B	古都にふさわしいまちづくりにするために意識を高める
B	古都にふさわしいまちをつくる意識
B	古都にふさわしいまちづくりの推進
C	まちのイメージ向上に努める（喫煙ルールをまもるなど）
C	きれいなまちづくりに努める（ゴミのポイ捨て防止など）
D	一人ひとりがかもって鎌倉に愛着をもって、大切にゴミひろい環境保護
D	古家、空き家の友好的な活用を実行する。
D	古い建物の有効利用（マッチング）
E	住民が安心して住めるまちになるように

・ 人口増加（11）

班	内容
A	人口増の秘策はないか 滋賀県草津市の例 ・子育てができるまち ②学術施設を誘致 ③企業を誘致
A	鎌倉のネームバリューを活用する。→外部からの移住者を増やす
B	若い人も住みやすいまちに
B	人口減に歯止めをかけるための若者が暮らしやすいまちづくり
C	若い人（女性）が喜んで住めるようなゴミ・クリーン活動を継続する
C	若い人が住みたくなるまちづくりを市と市民が協働でやるべき
D	若い世代が住みやすい福祉の充実を
D	若い人に住みやすいシステム税政、子育て支援、優遇
E	若い人たちが魅力を感じるまちになる必要あり
E	若い人たちの住みやすいまちづくりの工夫→医療との助成

班	内容
E	若い世代を増やさなければならないので、その環境をつくる

・ 市民参画・協働（11）

班	内容
B	市政への積極的な参加
B	意識の高い市民の集まりをつくりあげる市民力の活用
B	住んでいて良かったと思えるよう、小さなことでも課題をみつけ解決していく
B	高齢者、若い人の市民力
C	市政に積極的に関わっていく（意見提言、協力）
D	企業同士のまちづくり（CSR）
D	行政に頼らない自立したまちづくり
D	一人ひとりの防災意識をもち、自助から共助に目を向ける。
D	行政、地元企業市民が協働で鎌倉を考え、事業を行う。
D	行政・市民・企業が協働してかまくらランドデザインをつくる
E	協働事業を推進して市の財政健全化に協力する

・ 地域活性化（9）

班	内容
A	市内で活動しているなかで成果のあがっているものをピックアップする
A	障害者のふれあいショップは全国からみても特に成功している。→行政の支援あり
C	介護ビジネスに雇用の期待がもてる。市民力で新しい事業をおこしてはどうか。
D	地産地消！地域で経済をまわしていく
D	地元のお店を使う 鎌倉ブランド
D	鎌倉で完結するような循環型社会を意識する
D	地元企業、商店を使う
E	福祉と観光で世界の一番になること
E	観光客がお金を落とすまちづくり 簡易な宿泊施設等 観光客の導入も必要

・ 施設・土地利用（7）

班	内容
B	土地売却政策の抜本的解決の提案
C	野村総研跡地に大駐車場をつくり、観光客を呼びよせる
C	深沢地区にショッピングモールをつくり、若者を集める
C	深沢の再開発で若い人を呼べるショッピングモールをつくり、そこに市役所を移転してはどうか
C	深沢地区（再開発地）に市役所を移転（建設）する
E	ミニ開発の反対を自治会で貫く
E	働き手の若者が住めるまち（税収増）住宅はみどりを壊さず深沢の JR 跡地の有効利用

・ 行政改革・財政健全化（7）

班	内容
C	行政政策改革案を市に継続して発信し実現をめざす
C	財政健全化に土地取得予算の凍結を！ハコもの行政を見直す必要あり
E	行革プランをブログで宣伝する
E	市議会議員を減らす運動を支援する
E	財源不足対策は抜本的なものが必要だ
E	観光税導入派の市議を応援する
E	観光客に相応の税金を払っていただく



• ボランティア（6）

班	内容
B	子どもたちにボランティアの力を受け継ぐように伝える
B	高齢者がボランティアをした場合、ポイント制を活用、そのポイントを寄付するアイデア
B	鎌倉市民のボランティア精神を生かすために、ポイント制を導入しよう
B	ボランティア活動にポイントなど
B	企業のボランティアとデジタル社会への対応力
B	企業がボランティア活動に積極的に取り組むための風土をつくっていく

• 交通（5）

班	内容
B	車の規制
B	交通渋滞を解決するために、道に色をつける
E	観光都市として車の規制を考える
E	道を広げることは難しいので交通規制をする
E	一番求められるのは、交通政策。このまま世界遺産登録されると私たち市民は土日に急病になったら大変！！



第2 話合いの内容・まとめ

(1) 各グループにおける話合いの内容

ワールドカフェでは、各グループで模造紙に参加者が発言したことや話をしていくなかで思ったことなどを書きながら意見交換を進めていきます。

以降では、各グループで記入された模造紙を掲載することで、ワールドカフェでの意見交換の経過を紹介します。

なお、記載については、原則として原文のままとしています。



グループA



模造紙の内容のまとめ

若者と高齢者のふれあいをテーマとした書き込みが多くなっています。

記載内容

- 世代間の交流がある！
- 人口増をめざして子育てしやすいまちづくり（公園）
- 緑を壊さず限られた場所を確保
- 若者が住める（集合）住宅などを建てる
- 20年後の健康
- 高齢者⇄若い世代 →一緒に住んだらどうだろう。
- 高齢者が若者の手本となれる！
- 子育てのしやすい環境→公園をもっと！！
- 場・チャンスを与える
- みんなの前に出品みせるモチベーションを高める
- 鎌倉ロビー（無料）貸付
- ふれあいショップ パン・クッキー手づくり
- 人的資源（元気な年寄り） 介護予所 期待される
- 元気な年寄りをつくる
- 目標になる年寄り
- モデル・ハウス年寄り若者のシェアハウス
- 学校誘致
- 企業誘致 鎌倉が好き
- 子育てをしやすいまちづくり
- 人口が増えるようにする施策 ユータウン
- 安全・安心なかまくら！！
- 湖山鎌倉
- 現代満足→草少ない 恵まれている

- 熱心な方は外部からの人
- 鎌倉のプライド
- ネームバリュー 知名度
- 異文化交流
- 世代間交流
- ボランティア活動 元気な年寄り
- 緑を守る努力
- これといった産業なし
- 声かけ
- 子供
- 引きこもり とじこもり
- 障害者に優しい鎌倉であってほしい
- 風光明媚 気候温暖
- 排他怯風 ヤクザいない



グループB



模造紙の内容のまとめ

高齢者のボランティア活動、若者の住みやすいまちづくりについて、多く記載されています。

20年後より近い将来を見据えた意見が多く記載されています。

記載内容

- 大船→アクセスが良い
- 不便が良い
- 若い人が住みだしたまち 住みやすいまち
- 海あり、山あり、江ノ電あり
- 何も無い歩け歩けのまち
- 坂道が健康をつくる
- 不便さの知恵 まちにはいろいろ豊かさがある
- エネルギーの独立→観光→世界トップに 高齢者資源
- 生まれ住んでいる人が多い
- メイン道路を整備(車・人) 車道、歩道(Park&Ride 他の規制) →歩くまち・鎌倉・松江 ex 道路に色付けてある
- (ex) Credit Card&外貨交換可←福祉と観光で日本/世界一の都市 高齢者が社会資源となるまち
- 近所の人たちが親切→地域のコミュニケーションができています。
- 若い人が住みやすいまち(医療【制度】改革、子供の無料化)
- 静か
- 古都にふさわしい建物のまちー意識したまちづくり
- 20年後でなく、5年以内に実現、津波対策
- 寺が土地をたくさんもっていて売らない
- 空がきれい!!建物が低い
- ゴミの分別
- おせっかい

- 高齢者の知恵ボランティアを生かす
- 高齢者がボランティアお世話した場合 ポイント制を→寄付金へ
- 横浜逗子が実施している
- 桜を守ろう
- 富士山が見える すばらしい
- 市民が活動している（市民力の活用）
- ボランティア活動力
- ボランティアのカ 子ども受け継がれていく
- 若い人のITの活用 市民への援助 ボランティア
- 引越し鎌倉の良さがわかる
- 空！
- 古いまちが壊される←管理する

グループC



模造紙の内容のまとめ

緑やゴミのないまちなどの自然環境をテーマとした記載が多くなっています。

記載内容

- ボランティアが多い ⇒意識が高い
- 学校がいい！ 有名・優秀
- 海が好き！山もある お寺もある
- 歩行喫煙禁止⇒分煙化モラル up
- 市内に仕事場を作る！→若い人を増やすことになる。
- 世界遺産で観光事業 日本の高齢で介護事業のビジネスチャンス大
- (上記 観光事業、介護事業) 仕事両立寄付→若い人が住みやすいまちにする
- 世界のリーダーになれる！
- 商店街の思未力
- 若い人をよべるまちづくり←政策として重要
- 財政赤字の原因は土地購入⇒この活用
- 4名(大和市)在 (市内)植木 10年 扇ヶ谷 5年~10年 今泉台 16年
- 子どもお年寄りの共存が課題
- 芸術都市
- 植物園も
- 大船のターミナルとしての思未力
- ゴミのないきれいなまちづくりも重要!!
- ハイキングコースがすぐある
- 松竹撮影所も残してほしかった。
- 緑の回廊が良い
- 古い家の活用法←2分割してしまう←古い家壊している⇒もったいない保存すべき
- 山があり津波から逃げられる
- 空地 人口減少 どう生かすのか課題

- ハコもの行政見直し
- 歴史が有名
- 昔よりきれいになった海
- 住むと遊びにくると違う点
- 人口は増えていそうで増えていない。→藤沢は増えている 優遇策がある
- 市がやること 市民が協力すること →住みやすいまちに！
- 車が入らないところも多い
- ハイキングコースの整備してほしい
- 年をとっても住める環境づくりが必要
- 年寄りも元気になれるまち
- ショッピングモールのような若い人の思未力場所づくり必要
- 博物館ではなく、野村総研の再活用＝深沢に市役所も移転
- 市の都市計画が要
- 石巻市市役所のようにショッピングセンター内に市役所をおく。＝民の金を活用
- 民間の活用←行政サービス



グループD

模造紙の内容のまとめ

地元企業や地震対策に関するテーマの記載が多くなっています。

記載内容

- 面白い人が多い
- 海もあって山もある 路面電車もある
- ビーチサンダル短パンなどの軽装で過ごせる
- うらやましがられる
- 旅行にきた気分になれる
- 大船は物価が安い
- ゆっくりした時間がもちやすい雰囲気がある
- 行政・企業、市民の協働
- 地元企業を使う頭を持つ 鎌倉循環型社会
- 地元のお店を使いましょう
- 鎌倉に住んでいる人がもっと鎌倉を愛する事
- 知名度が高い
- 品のある人が多い
- 地域での盛り上り
- 民間だけで自立したまちづくり
- 若い人が住みにくい⇒高齢者住居を活用できないか
- ゆったりジョギング 犬のさんぽ
- 気候がよい
- 知名度
- かまくら内 CSR
- 市民活動が活発
- 世界に開かれた(世界遺産) まちに！
- 子どもを育てやすいまちに！

- 住宅の高層化
- 津波対策
- 鎌倉野菜
- 福祉・環境の先端都市⇒観光
- 交通メイン道路キレイに 進入させない
- 空気がキレイ 環境がよい
- 四季を楽しめる
- 若い世代が住めるように家屋が購入しやすく
- 古い建物を細分化せずそのまま有効活用 若い世代に貸す（北鎌 武士衣装レンタル屋ある）
- 鎌倉が他の市町村と合併することはないのか？
- 地震対策、津波対策をやるべし!! きたら逃げるしかない？

グループE

模造紙の内容のまとめ

観光地としての鎌倉についての記載が多くなっています。

記載内容

- 子ども声が多いまち
- 鎌倉うるおうために
- 大船は観光客いない
- 別荘地だったので昔は立派な人が住んでいた。←時代の中で鎌倉 頼朝→江戸時代→明治
- (旧鎌倉の人の一部えらびったところがある)
- 鎌倉の海＝自然的条件よろし
- 都心にも近く自然豊か
- 観光税をいただく
- 相応の負担
- 未来の税金は福祉にまわす
- 平和都市宣言 ナショナルトラスト
- 市民意識の高さ
- 若い人間の住みやすいまち→医療助成
- パーク and バス 車の規制 鎌倉ナンバーの率
- 20年後の鎌倉は！川越が参考になる。
- 少子化→子どもを多くして！

(2) 全体での意見共有

参加者が記入したふせんを貼り付けた模造紙を全体で共有し、意見発表を行いました。発表の場に出た意見は以下のとおりです。

- お年寄りがいるマンションに住んでいる若いご夫婦が、子どもの声がうるさいと言われて住みづらいということをしていました。子育て世代を応援していかないと、次の鎌倉がなくなってしまうと思いました。
- 渋滞を何とかしないといけないという話をしているなかで、松江市の例で、道に色をつけて、例えば寺に行きたいならば、何色の道をたどれば良いというようになっている、という話を聞いて、鎌倉にぴったりだなと思いました。そういったところは、身近のところからできるのではないかと思います。
- 鎌倉市は高齢化率が日本一。日本一ということは、世界一なのです。したがって、高齢者ビジネス、あるいは介護ビジネスチャンスも世界一のはずなので、うまく宣伝すれば、資金が投入されて、資金は流入します。そのお金で赤字財政の改善ができれば良いと思いました。深沢の土地とか、野村総研の跡地は塩漬けになっているので、うまく活用できるのではないかと思います。



- 行政、地元企業、市民が協働で鎌倉を考えていくという、グランドデザインをみんなの協働で考えていかないと先には進まないのではないかなと思いました。また、テーブルに青年会議所の方などがいらっしまったので、そういったところでジャンルを飛びこえて1つのまちを考えていければ、色々生まれてくるのではないかなと思いました。

- 資料をみると、行革の話がかなりありましたので、やはり1つ大きなテーマは、行革をどのように進めていくのかということだと思います。市民は、評論家として飲み屋であれこれ言うのは得意なのですが、それ以上のことをするにはどうしたら良いかを考えないといけない。具体的なプランをつくって、自分のブログで宣伝するとか、色々な市民の媒体がありますので、そこで問題提起をしていくことが必要ではないかなと思います。行革を議員や市職員にお任せするのではなく、我々が具体的に頑張らないといけないと思いました。



- 深沢の再開発の話がでましたが、私たちのグループで出たアイデアとしては、市役所を深沢にもっていき、ショッピングセンターのなかに市役所を作るということでした。私が被災地に行った時のことですが、石巻市はショッピングセンターのなかに市役所がありました。住民票をとりながら、買い物できる。そうすると今の市役所は空くので、別の活用する方法をする必要があると思います。

- 鎌倉は、鎌倉という名前だけでネームバリューがある。これをもう少し活用できないかということ。それから、少子高齢社会が特徴なので、老人の人的資源を活用するためには、若い人たちと交流する、世代間交流というものを企画したら良いかなと思います。グループのなかで年配の方と中学生と一緒に食事会をして、お互いに自分の経験談を話したりすることで、若い人の閉じこもりとか、引きこもりを防止すると同時に、もっと期待される老人になろうということの良いのではないかと思います。次世代交流と、世代間交流が大切ではないかと思いました。

以上

(添付資料)

当日投影用パワーポイント資料